

吾日三省



校長 鬼 武 伸 哉

ゴールデンウィーク明けの5月7日（火）の午後、和木小学校で和木町春季教職員総会が開催されました。会の冒頭で、和木町教育委員会の重岡良典教育長から講話をいただきましたが、お話の中で、今号のタイトルに使わせていただいた「吾日三省」について触れられました。実はこの言葉は、1963年に政治家の荒木万寿夫元文部大臣が本校を訪問された際に書かれた「書」として校長室に飾られています。写真にあるように、「書」における文字は、右から左に配列されています。今年の7月3日に発行が開始される新一万円札の新しい肖像に選ばれ、NHKの大河ドラマでも主人公として採りあげられた渋沢栄一氏が座右の銘とした曾子の言葉で『論語』から引用されています。

「吾日に吾身を三省す」

その意味は、「私は毎日、自分の行いについて三度（何度も）反省する」と伝えられています。恥ずかしながら、私は中学生の頃、落ち着きがなく、家族や友人に不平不満を言いながらイライラした日々を送ることが多かったと記憶しています。そんな私を見かねた当時の担任教諭が私を指導する際に教えてくれたことが、就寝前のちょっとしたセレモニーでした。布団の上であぐらをかき、黙想しながらその日、自分がしたことを静かに振り返る。いつの間にか、心が落ち着き、把握しづらかった自分の浅はかな姿がより鮮明に浮かび上がってくるように思えたものです。重岡教育長の講話と校長室に掲示された書のおかげで、およそ50年前の私と久しぶりに出会えたような感情に包まれ、懐かしさと同時に嬉しさを噛みしめています。

教育長は講話の続きで、京都の天龍寺や龍安寺にも触れられました。偶然にも、私はその前日、両寺院を訪れていました。京都の庭を見たくなり、京都駅近くの渉成園を皮切りに、小川珈琲堺町錦店中庭、天竜寺庭園、大河内山荘庭園、龍安寺石庭に足を運んでいたのです。龍安寺の石庭では、庭に配置された15個の石を同時に見ることができないという話は知っていましたが、完成したものから崩壊が始まるという考えのもと、同時に見渡せないように設計されたという言い伝えや庭に面した板の間から寺の住居スペースに上がるとすべての石を見渡せる場所があるといったこぼれ話まで教えていただき、多くのことを学ばせていただきました。さらに、重岡教育長の講話について書かせていただくと、石庭とは建物を挟んで反対側にある「知足の蹲踞（つくばい）」（下の写真を参照してください）が講話のテーマとなっていました。「つくばい」とは、茶室に入る前に手や口を清めるための手水鉢のことで、「つくばう」（体をかがめる、しゃがむ）から派生した言葉ではないかと教えていただきました。



教育長の講話資料から引用させていただくと、中央の四角い穴を囲むように「五・佳・疋・矢」の4字が刻まれており、その穴を「へん」や「つくり」の「口」として共有すると「吾唯知足」と読むことができます。すなわち、「われただたるをしる（私は満ち足りているということだけを知っている）」というメッセージこそ、重岡教育長が私たちに伝えたかったことで、「こんな人生だったらなー」と現実にはないものを羨むのではなく、今の生活のよさに気づき、今ある環境を十分に生かすことでさらなる幸せを育んでほしいという教えだったのだと、日に三度は、講話を振り返っております。

やまぐち型地域連携教育の推進について

山口県教育委員会では、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、「やまぐち型地域連携教育」をこれまで以上に推進し、社会総がかりによる「地域教育力日本一」をめざしています。本校でも、和木町の『町ぐるみ「和木学園」』構想のもと、地域連携教育を推進しています。

5月16日（木）には令和6年度第1回学校運営協議会を18時より開催しました。協議会では、今年度の学校運営について説明を行いました。学習指導においては、生徒が主体的に取り組む授業づくりをめざして、「豊かな表現力を育む、ICT機器の効果的な活用」と主体的・対話的で深い学びを導く「学び合い学習の在り方」についての研修や「一人一授業公開」でのミニ研修を通して授業改善を行っていくことなどをお伝えしました。また、昨年度までに引き続き、生徒に豊かな心を育ませるために、日々の「心磨き清掃」や「労作活動」、諸行事でのボランティア活動を奨励していくこと、保護者や地域の方が学校の活動に触れる機会を増やすために、各学期に土曜参観日を設定し、土曜参観日に合わせて、家庭教育支援チームと連携したサロンを開催したり、スクールカウンセラーや公認心理師による面接相談を活用したりすることで、お子様だけでなく、皆様が抱えておられるお悩みにも対応させていただきたいということもお伝えし、ご理解を得ました。このように学校運営協議会では、学校と家庭、地域とが連携した教育活動を推進していくために、委員の方からご意見をいただき学校運営に関わっていただいています。

5月14日（火）には、毎年恒例になっている民生委員さんとの清掃活動を和木中学校で行いました。3校時の10時35分から11時25分にかけて、民生委員さん15名と本校の3年生が16グループに分かれて、グラウンドやグラウンド周辺の植え込みの草取りを行いました。お陰様でグラウンド周辺がとてもきれいになりました。このように、学校では地域の方から学校支援ボランティアを行っていただいています。

5月19日（日）には、12日（日）の雨で1週間延期された地域一斉清掃がありました。生徒へ地域清掃への参加を呼びかけたところ、各学年20名程度の生徒が地域清掃に参加し活動しました。また、6月1日（土）には和木町の「福祉まつり」が開催されました。社会福祉協議会より中学生のボランティア参加の依頼を受け、「福祉まつり」へのボランティアを募ったところ、20名の生徒が参加することとなり、当日参加した生徒は早朝より様々なボランティア活動に積極的に取り組みました。このように、本校では地域に貢献していきたいと思う生徒がたくさん育っています。

今年度も、学校と家庭と、地域との連携をしっかりと図りながら本校の教育活動を推進してまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

運営協議会委員

会 長
副会長
委 員

様
様
様
様
様
様
様



1年 グリーンスクール、2年 スカイスクール、3年 修学旅行 終了

5月に各学年の校外学習が実施されました。1年生は、由宇青少年自然の家ふれあいパークで AFPY や野外炊飯、陶芸等を、2年生は、周防大島町で16グループに分かれて家業体験を行いながら民泊体験を、そして3年生は、奈良、京都、大阪で歴史的・文化的遺産や近代産業について見学し、多くのことを体験しながらの研修を通して、子どもたちは個人及び集団としての学びを深めました。学んだことの振り返りを生かし、今後の学校生活の充実に繋げていくことを期待しています。

